



敷島南小学校  
学校便り NO.7  
令和5年6月  
学校長 五味 正年

## 朝のあいさつで 見つけた素敵な子どもたち

学校では、6月、児童会が企画した「朝のあいさつ運動」が行われています。クラスごと当番を決め、クラスでいくつかの場所（1年生玄関、2～6年生玄関、各階段踊り場）に数人ずつ分担し、あいさつ運動をしています。

私は、2～6年生の玄関であいさつをしています。大きな声であいさつしてくれる子が増えてきていて、これからもっともっと増えていくかと考えると、とても楽しみです。子どもたちの元気なあいさつが、玄関ホールいっぱいになり、とても清々しい気持ちになります。

ある日、いつものように玄関に行くと、その日は特に元気なあいさつが、声をそろえたかのように聞こえてきました。そこでは、あいさつ当番で回ってきたクラスの子もたちが、玄関に入ってきた子どもたちや先生たちにあいさつをしていました。私も、この子どもたちの横で一緒にあいさつをしたのですが、大きく明るい声、そろった声であいさつしている姿を見ると、自然に笑顔になっているのに気がつきます。この素敵な子どもたちと一緒にあいさつをただけですが、とても嬉しく、心温まる気持ちになりました。あいさつって、本当に「気持ちを明るくしてくれるものだなあ。」と再確認できました。

これからも、この良いあいさつが、みんなの習慣となってくれたらと思っています。保護者の皆様も、地域の皆様も、子どもたちに声をかけ、良いあいさつが帰ってきたら、ぜひ、ほめてあげてください。よろしくお願いいたします。

## ろうかを走らないで運動

以前、校内で、児童が走っていてケガをする事故が起こりました。ろうかを歩いて移動することは、校内の安全のために大切なことです。

6月に入り、梅雨の季節に入り雨が降ったり、晴れても熱中症が心配だったりして外で遊べなくなるも多くなります。その分、ちょっと体を動かしたくなって、室内やろうかを走って、ケガをすることも考えられます。そこで、室内で安全に過ごすために、生活・ボランティア委員会で「ろうかを走らないで運動」を始めてくれました。

この機会に、室内のマナーを身に付けていくことが大切だと考えています。





# たくさんのボランティアの皆様を支えられて

今年度は、コロナ禍も収束しつつあり、保護者や地域とともに学校づくりをしていきたいと願い、学校の教育活動を支えていただくボランティアを募集しました。多くの保護者の方々が、ボランティアとして応募いただきました。順次、学校に来ていただき、教育活動を支援してくださっています。これまでにお手伝いいただいているボランティアの種類は、体力テスト、読み聞かせ、水泳監視、草取りです。6月26日時点で、保護者や地域の方々、合わせてのべ200人近くにもなります。大変ありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもたちも、たくさんの保護者や地域の方々に来ていただき、教えていただいたり、ふれあいをもってもらったりすることで、社会性を身に付けたり、安心・安全に学習に取り組めたりといいことがたくさんあります。環境整備の点から草取りに来ていただき、花壇や裏庭などとてもきれいにしてくださることで、きれいな学校で勉強することもできます。また、プールでの子どもたちの安全性を確保するために、1～4年生まで保護者の方々にお手伝いに来ていただいています。子どもたちにも「お家の方や地域の方が来てくれて、みんなの安全を見守ってくださったり、勉強の手伝ってくださったり、きれいにしてくださったりしているよ。」と伝えていきたいと思っています。子どもたちの支援や学校教育への支援をいただきありがとうございます。

これからも、これらの活動を継続していきたいと考えています。より多くの保護者や地域の方に、ご支援いただけながら続けていけるよう、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



6/12読み聞かせボランティア



6/19読み聞かせボランティア



上：草取りボランティアに来てくださった保護者の方

下：プール監視のボランティアの保護者の方



※ここには載せ切れていませんが、多くの保護者や地域の方々から御協力をいただきました。ありがとうございます。